

# 2006年度トピックス

## OKIグループ統合環境ISOの範囲を海外に拡大

2004年度に構築した、OKIグループ統合環境ISOの範囲を海外拠点のタイランドエリアに拡大し、第三者機関の認証を受けました。対象となった拠点は、Oki(Thailand)アユタヤサイト、Oki Data Manufacturing(Thailand)アユタヤサイト、Oki Precision(Thailand)チェンマイサイトの3拠点です。また、国内では、設計開発・営業・生産・サービス等のグループ企業を対象に8グループ企業、10サイトを新たに統合しました。



Oki Precision(Thailand)登録証授与



Oki(Thailand)第三者審査受審風景

## 産業廃棄物広域認定制度の認定を取得

OKIグループは、循環型社会形成の一環として、環境省より、使用済製品の廃棄処理におけるリサイクル性向上を目的とした「産廃広域認定制度\*」の認定を取得しました。従来より「産廃広域指定」を取得していましたが、今回さらに使用済製品回収システムの拡充を図り、産業廃棄物の処理を行う中間処理委託先を8社追加し、新たな体制でさらに環境負荷の少ないリサイクル処理を目指します。

情報セキュリティ管理や処理手順など、廃棄処理に関するお客様のご要求に、より柔軟にお応えすることが可能になりました。対象となる産業廃棄物は使用済み情報通信機器およびプリンタ製品で、これらの回収とリサイクル処理を実施します。

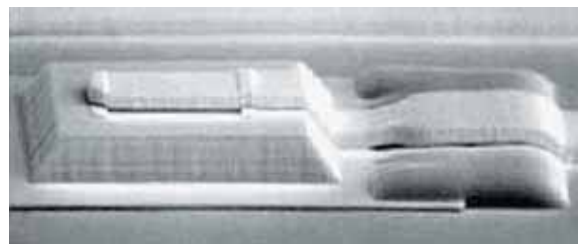
\*）産廃広域認定制度：  
廃棄物の減量とその他の適正処理やリサイクルが確保されることを目的として、製品等の製造者が都道府県の区域を越えて廃棄物の処理を行うことができる廃棄物処理法の特例制度。



## 製品の環境対応と環境技術

### ●エピ・フィルム・ボンディング技術

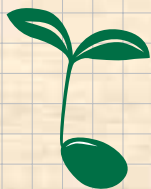
エピ・フィルム・ボンディング(Epitaxial Film Bonding)は、薄膜化した素材を素材間の分子間結合力を用いて接合する技術です。この技術をプリンタ用LEDヘッドに適用することにより、発光デバイスと駆動回路を一体化した新しいデバイスを世界で初めて実用化し、大幅な省資源、小型化、低消費電力化に成功しました。



### ●中国市場向け小型省スペースATM「ATM21SX」

「ATM21SX」は、設置スペースを従来機種に比べ30%削減、動作時の消費電力を従来製品と比較して10%削減した、省スペース・低消費電力型のATMです。OKI独自基準による化学物質の抑制を行うとともに、中国の規制に適合した製品含有化学物質の表示を行っています。





# 2006年度トピックス

## 製品の環境対応と環境技術

### ● 沖電気地震対策セミナー2006

これまで、「沖電気環境セミナー」では「製品含有化学物質の管理システム」や「はんだの鉛フリー化」など製品環境対策に関するOKIグループの具体的な事例をご紹介してきました。2006年度は、「製造現場における企業の地震対策とリスクマネジメント」と題し、宮城沖電気で経験した二度の大規模地震の対応事例を中心に、「沖電気地震対策セミナー2006」を開催しました。

OKIグループの「緊急地震速報」活用事例紹介やNPO法人リアルタイム地震情報利用協議会専務理事の藤縄様から、「緊急地震速報の利活用」のご講演を戴きました。



### ● 「ECO-MANUFACTURE2006（製造業環境・エネルギー対策展）」への出展

OKIグループでは、環境分野で培ってきました社内環境技術を製品化し、お客様にご好評をいただいております。ネットワークソリューションを事業の柱とし、ネットワーク型環境経営を実践するOKIグループは、IT企業であるとともに、半導体やメカトロニクス製品なども手掛けるモノづくり企業としての側面も有しております。そのため、特定の分野に偏ること無く、ソフトか

らハードまで多くの環境ソリューションを取り揃えております。本展示会でご紹介しました環境技術は、「製品含有化学物質管理に対応したITシステム」とその評価技術である「化学分析サービス」、そして、宮城県沖地震を実際に体験しシステム化した「リアルタイム地震防災システム」を取り上げご紹介しました。



## 環境コンプライアンス確保の取り組み

### 環境関連法令の全社情報管理システムの改善

OKIグループの各拠点における法令等の改正情報や法令の対象となる設備・環境側面に加え、届出情報を一元管理し、技術・情報継承の課題に対応しています。2006年度の改善では、設備や環境側面から法令情報等の逆検索機能を追加し、設備導入検討時のアセスメントに活用しております。

